

第一小学校西側昇降口の庇のガラス破損（ひび）について

1 ガラスのひびの発見から撤去までの経過

＜令和 2 年 8 月 25 日（火）・発見日＞

- ・ 第一小学校の教員が庇のガラスの中に、ひびが入っているガラスが一枚あることを発見
- ・ ガラス等の落下物は無し
- ・ 児童、教職員等の負傷者は無し
- ・ 市職員及び施工業者が現地にてガラスのひびの状況を確認。二枚重ねて設置している上部のガラスにひびが入っている状況であり、下部のガラスがある二重構造となっているため、ただちに落下する危険性はないが、早急にガラスを撤去する必要があると判断
- ・ 施工業者に対して、ガラスの早急な撤去と原因の究明を指示
- ・ ガラス撤去までの間、児童の安全のため西側昇降口の使用を禁止。また、児童が立ち入ることがないように、立入禁止のポールとチェーンを設置

＜令和 2 年 9 月 5 日（土）・撤去日＞

- ・ 西側昇降口に足場資材を組み立て、庇のガラスを保護しているシール材を切断
- ・ 切断後、二重構造になっているガラス 1 枚をクレーンで地面に降ろし、撤去完了
- ・ 足場を解体し、原状復帰

2 今後の対応

(1) ガラスのひびの原因究明

- ・ 撤去したガラスを施工業者が持ち帰り、富山県にあるガラスメーカーの工場においてガラスにひびが入った原因を調査中

(2) 復旧等

- ・ 原因が判明した後に、安全に配慮した復旧方法を検討する。



ひびが入ったガラス

